

特定非営利活動法人 組織学会

定例会

全4回 丸の内シリーズ企画

組織・経営研究の新潮流 (第3回)

2024年11月28日(木)

19:00~20:30 (18:30 受付開始)

会場：コンファレンススクエアエムプラス

(10F グランド)

交通：JR東京駅 丸の内南口徒歩2分

<https://www.marunouchi-hc.jp/building/2/conference>

介護組織の共感ネットワーク： イノベーションの定着メカニズム

— 企業が連携してDX推進や社会課題の解決へ
挑戦しそれを継続することの価値を考える

たはら しんすけ

田原 慎介

公立諏訪東京理科大学 准教授

専門分野：経営組織論、アントレプレナーシップ論

京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。
博士（経済学）。関西学院大学助教等を経て現職。
組織学会『組織科学』編集幹事（2022-2024）。



討論者



はい えいしゅ
斐 英洙 氏



すだ ませい
須田 万勢 氏

慶應義塾大学医学部特任教授、慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科特任教授、慶應ビジネススクール特任教授、医師、医学博士、MBA。その他、高知大学医学部附属病院病院長特別補佐、厚生労働省「医師の働き方改革に関する検討会」構成員などを歴任。著書に『医療職が部下を持ったら読む本』（日経BP社）、『トリアージ仕事術』（ダイヤモンド社）など。

諏訪中央病院リウマチ膠原病内科医長、茅野市 DX企画幹、東京財団政策研究所主任研究員、統合医療チームJIN 代表理事。専門は、リウマチ性疾患、予防/養生医学、まちづくり。東京大学医学部医学科卒業後、諏訪中央病院で初期・後期研修、聖路加国際病院リウマチ膠原病センターにて専門研修。現在は、茅野市デジタル田園健康特区構想任者としても活躍。

司会者



ふなつ しょうへい
舟津 昌平

東京大学大学院

経済学研究科・講師

専門分野：経営組織論

企業は、従業員の働き方改革やDX推進、社会課題の解決を視野に入れたイノベーションを迫られている。これらは組織変革を伴うものであるが、一過性のものになりやすい。

本書の出発点は、「なぜ、企業が社会課題の解決を目指して開発した革新的な介護サービスは、思うように介護組織に定着しないのか」という点にあった。イノベーションは創出や普及に目が向けられがちだが、社会課題解決の本質は、その定着にあるのではないだろうか。

本書が主張する定着の鍵は、サービスを活用する組織間の共感にもとづく凝集性の高いネットワークとそこでの学習である。この結果をもとに、本講演では、DX推進や社会課題解決のための新規事業創出など最新のトピックについて、医療・介護の枠を超えて変革に挑戦し続ける二人の医師と共に、最新の研究成果を踏まえて議論する。



『介護組織の共感ネットワーク
—イノベーションの定着メカニズム—』2022年 中央経済社。

参加費：組織学会会員1,000円・一般2,000円 / 会場定員：100名(要事前予約)・オンライン参加

参加申込専用サイト：<https://forms.gle/NQUV7LTnyX3Pz9Y19>

協力：三菱地所株式会社